

※ 今週のアウトルック (6/6~6/10)

先週は週末の米国雇用統計の大幅悪化を受けて、ドルが大きく売られました。

米国非農業部門雇用者数が予想を大きく下回り、早期利上げ観測が後退し一気にドル安が進みました。

今週はこの影響がどの程度残るのががまず注目されますが、利益確定などである程度のリバウンドがあったのちも、断続的なドル売りが続く可能性もあるように思います。

先週のドル円は、週末の雇用統計悪化を受けて6月の利上げ観測が後退し、一気に2円以上下落して106円台中盤で週末を迎えています。

今週はまず、105.5円付近のサポートを割ってしまうかどうか注目されますが、一気に割り込んでしまう可能性は少ないかもかもしれませんがサポートラインへのトライは何回か続く可能性はあるように思います。

ドル円の予想レンジは105円から109円です。

ユーロドルは、ドル売りからの上昇となっていますが、1.16付近のレジスタンスを越えられるかどうかポイントとなりそうです。ただ今週中に一気にクリアする可能性は、いささか少ないように思います。

ユーロ円は121円中盤付近のサポートを割り込んで、一時的にせよ120円台に割り込んでいます。今週、120円を割り込むことがあれば急落の可能性もでてくるように思います。

ユーロ円の予想レンジは118円から124円です。

ポンド円は一転して下降トレンド入りした可能性が高まっています。今週は152円を割ってしまうと、急落の可能性が高まるように思います。

ポンド円の予想レンジは150円から159円です。

今週は米国雇用統計の結果がどの程度残るのががまずは注目されますが、サポートライン付近に到達している通貨ペアも多く、状況次第では一気に円高が進んでしまう可能性も想定しておいたほうが良いように思います。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。